

学校法人 福原学園
令和6年度事業計画

令和6年3月

目 次

I. はじめに

II. 事業の概要

1. 九州共立大学	1
(1)教育（学生・生徒・園児支援を含む）	
(2)連携	
(3)運営	
2. 九州女子大学・九州女子短期大学	5
(1)教育（学生・生徒・園児支援を含む）	
(2)連携	
(3)運営	
3. 自由ヶ丘高等学校	8
(1)教育（学生・生徒・園児支援を含む）	
(2)連携	
(3)運営	
4. 九州女子大学附属幼稚園	12
(1)折尾幼稚園	
(2)自由ヶ丘幼稚園	
(3)鞍手幼稚園	
5. 法人全体（法人事務局）	18
(3)運営	

※ 添付資料

令和6年度事業計画アクションプラン

- (1)九州共立大学
- (2)九州女子大学・九州女子短期大学
- (3)自由ヶ丘高等学校
- (4)折尾幼稚園
- (5)自由ヶ丘幼稚園
- (6)鞍手幼稚園
- (7)法人全体（法人事務局）

I. はじめに

これまで福原学園は、建学の精神である「自律処行」の理念に基づき、地域に根差した教育機関として学園運営を永続的に行うために、第1次中期計画（平成20(2009)年度から平成25(2013)年度）、第2次中期経営計画（平成26(2014)年度から平成30(2018)年度）・第2次中期財政計画（平成26(2014)年度から平成30(2018)年度）により教学改革を推進し、平成31(2019)年度からは、第2次中期経営計画・第2次中期財政計画において積み残された課題、新たな課題の解決に向けて、第3次中期経営計画（平成31(2019)年度から令和5(2023)年度）を策定し教学改革を推進してきた。

令和元(2019)年度の改正私立学校法の「事業に関する中期的な計画」に関して、(1) 学校法人における中長期計画策定の義務化、(2) 認証評価の結果を踏まえた中長期計画の策定、(3) 中長期計画に関する評議員会の意見徴取等が明記されており、このことから継続して第4次中期経営計画の策定を行う必要があることから、令和6(2024)年度からは、これまでの実績を検証しつつ、令和6(2024)年度以降の課題の解決に向けた取り組みを行うため、第4次中期経営計画（令和6(2024)年度～令和10(2028)年度）を策定している。

II. 事業の概要

1. 九州共立大学

九州共立大学は、第4次中期経営計画の経営基本方針に基づき、「教育組織を強化し、学生および保護者の満足度を向上させる高等教育を行う大学を目指す」ことを基本目標として掲げ、〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）、〔2〕連携、〔3〕運営の3つの区分および14の具体的計画を設定し計画を実施する。

〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）

キャリア支援に関することおよび進路支援に関することを含めた教育に関することを具体的計画の項目に倣って策定し、私立大学等改革総合支援事業(タイプ1)の選定に関する計画を必須項目として掲げる。

①教育課程の充実

【九共大AP No.1】

毎年度実施される点検・評価の結果を踏まえ、単位の実質化や成績基準の明確化・厳格化を図るため、シラバスに記載している予復習課題の適切性および実施率を検証するとともに、成績評価方法・評価割合が到達目標に基づき適切に設定されているか検証する。また、これらの取り組みによる教育効果を検証するため、学修成果を測定し可視化を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：適切な事前事後学修を促す授業の実施率	100%
アクティブラーニングの要素を含む授業の実施率	100%
授業評価アンケートにおける授業時間順守の割合	80%
学生生活実態調査アンケートにおける履修系統図の理解度	50%

②免許・資格取得

【九共大AP No.2】

第3次中期経営計画で実践してきた取り組みを継続して実施し、免許・資格取得率を向上させるため、教職課程履修者に対する教員採用試験合格の支援を実施するとともに、主要資格取得希望者に対する合格の支援を実施して、各学科における免許・資格取得支援体制の強化を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：小・中・高・養護の教員採用試験合格者数	16人
----------------------------	-----

経済学部で取得可能な主要資格の合格者数	56人
アスレティックトレーナー(JSP0)合格者数	2人
スポーツトレーナー(JPSU)合格者数	3人
トレーニング指導者(JATI)合格者数	10人

③退学・除籍防止、学修支援 【九共大AP No.3】

多様化する学生への支援の充実を目的に、退学・除籍を未然に防止するための施策として、学生データを活用して出席不良学生および学業成績において適格認定基準に抵触する可能性が高い学生を早期に把握し、担任教育職員と連携して学生指導を行う。また、やる気のある学生が伸びることを支援する施策として、やる気支援の実施内容を「学部学科が学生に取得を推奨する免許資格を支援する内容」に限定し、教育課程内科目と密接に連携して運用するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：退学率	2.4%
除籍率	0.40%
授業評価アンケートの授業満足度における「非常に満足している」の占有率	96.0%
学生生活実態調査アンケートの学生満足度における「満足している」の占有率	30.0%
やる気支援(免許・資格・進路)受講者の資格取得試験等合格者数	45人
やる気支援(免許・資格・進路)受講者の進路決定率	97.0%

④就職支援 【九共大AP No.4】

充実した就職支援対策を継続して実施するため、民間企業希望者に対して、全員面談等で学生に周知し、積極的にインターンシップに参加させる等、早めに就職活動に取り組むよう促す。また、「公務員合格者数100人計画」を達成する支援策として、K-CIPを中心とした教育課程内外での取り組みを通じ、公務員の現役合格率の増加を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：上場企業【東証プライム・スタンダード・グロース・地方】内定率	20%
特定業界【金融・保険・JA等】内定率	7%
特定業界【卸業・小売業】就職率	20%
公務員合格者数100人計画(延べ数)	60人
公務員(行政職)合格者数(延べ数)	15人
公務員(公安職)合格者数(延べ数)	45人
地方企業等への就職決定率	75%
インターンシップ【短期】への参加者数(延べ数)	150人

⑤研究活動の強化 【九共大AP No.5】

科学研究費補助金の獲得のための支援として、採択件数増加に繋がる学内説明会を実施する。また、ティーチング・ポートフォリオ等を活用した研究業績の蓄積を行うとともに、あり方について検証する。研究に対する取り組みを活性化するために、配分基準を見直すとともに、学内における教育職員に対する研究支援策を検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：科学研究費補助金採択件数	5件
全国学会誌等への掲載件数	20編

⑥私立大学等改革総合支援事業(タイプ1)選定 【九共大AP No.6】

令和5年度の取り組みを継続的に実施することで各設問の得点を維持し、得点を獲得できていない設問について、得点獲得に向け、オープンバッジを含めたデ

デジタル化の導入を検討する。また、令和6年度からの教育課程の改編において、データサイエンス科目の授業展開および副専攻の導入を確実に実施するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：満点に対する得点の割合 85.6%

〔2〕連携

学園内設置校との連携に関すること、学園外との連携に関することを具体的計画の項目に倣って策定し、私立大学等改革総合支援事業(タイプ3)の選定に関する計画を必須項目として掲げた。

①学園内設置校、卒業生との連携

【九共大AP No.7】

自由ヶ丘高等学校との密接な連携による入学者数の増加に向けて、学生のファシリテーターおよびスチューデントアシスタントによる高校生への学び等を提供する。卒業生との連携については、卒業年度の12月に4年間を通じた学修成果についてのアンケートを実施し、学生の評価や意見を集約する。また、卒業後3年が経過した卒業生を対象に、在学中に受けた教育内容やサービスに対する意見を調査し、本学の教育内容や各種支援内容の検証を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：自由ヶ丘高等学校入学者数 45人
卒業時アンケートの回収率 85%
卒業生アンケートの回収率 10%

②国際交流の充実

【九共大AP No.8】

グローバル化する社会に対応できる人材を育成することを目的として、日本人学生を促進するため、短期海外研修プログラムの説明会を実施する。留学生の受け入れに向けて、台湾の高校と高大連携の可能性を現地の教育機関等と協議し、本学へ入学できる環境を整える。また、留学生の受け入れを活性化するため、中国や台湾の大学・高校と新規の協定締結を推進し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：短期海外研修プログラム参加者数 8人
海外の大学等との新規協定締結数 2件

③私立大学等改革総合支援事業(タイプ3)選定

【九共大AP No.9】

地域連携協定先の自治体等との地域連携協定に基づく新たな事業プランを検討するとともに、地域と連携した教育課程の編成および地域の課題解決に向けた研究を推進するため、正規科目内における連携事業の取り込みを検討する。また、令和5年度のスポーツ学部の資源を活用したリカレント教育の検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：満点に対する得点の割合 60%

〔3〕運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①職員研修(SD・FD)

【九共大AP No.10】

実践的・効果的なFD活動を推進するため、各期に実施する授業評価アンケートを分析・検証のうえ、組織的な授業改善に繋げるとともに、ティーチング・ポートフォリオの点検・振り返りを行うことにより、個々の授業改善へ繋げる。また、社会情勢等を踏まえ、授業改善を促すFD研修会を企画・実施するとともに、私立

大学等改革総合支援事業の調査項目に基づいた計画を策定する。あわせて、SD研修会を計画的に実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：FD研修の実施率	100%
SD研修の実施率	100%

②定員管理

【九共大AP No.11】

事業計画アクションプランの実施状況について、4月から9月までの取り組み実績を点検のうえ10月以降の課題を明確にし、進捗の遅れを軌道修正することで目標達成を実現する。また、計画どおりに研修を実施し、研修終了後のアンケート調査等を点検のうえ次年度の研修計画に改善することで各学部・学科等における入学定員充足率を達成・維持して大学全体の適切な定員管理を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：志願者数	1,400人
経済学部入学者数	400人
スポーツ学部入学者数	337人
経済・経営学研究科入学者数	6人
スポーツ学研究科入学者数	7人

③広報活動の充実

【九共大AP No.12】

高校生から「選ばれる大学」となるため、直接接機会である高校訪問、大学説明会では高校教育職員へ本学での学びや他大学との違いを広報するとともに、高校教育職員との関係構築を行う。進学相談会、オープンキャンパスの際には、高校生へダイレクトメールの発送を行い、オープンキャンパスへの動員に繋げる。また、ホームページ全体の構成や就職実績ページを充実させ、資料請求者数の増加を図るため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：オープンキャンパス参加者数	1,300人
大学説明会高校教育職員参加者数	80人
進学相談会高校生参加者数	5,000人
オープンキャンパス参加者の満足度	90%
高校教育職員の本学への理解度・満足度	80%
高校生の本学への理解度・満足度	80%

④大学アセスメントの構築

【九共大AP No.13】

教育活動の質の保証に向けて、三つのポリシーの適切性について外部有識者の客観的な意見を踏まえ点検・評価するとともに、アセスメントテスト等の結果を他の学生情報と組み合わせて分析することで、様々な視点で学生の傾向や教育活動の実態を把握する。また、各学部や事務局がそれぞれで実施しているアセスメントプランについてそれぞれの繋がりについて検証し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：アセスメントごとの自己点検実施率	100%
数値目標項目を達成した指標項目比率	40%

⑤危機管理体制の構築

【九共大AP No.14】

本学において発生する自然災害や重大事件・事故等、様々な事象に伴う危機に対応し社会的な責任を果たすため、本学の基本方針および対応方針について検討する。また、自然災害が発生した際の初動対応体制および学生および職員が犯罪や事件・事故等の被害者もしくは加害者になった場合の危機対応について、他大学での実例情報を収集して対応事例を整理し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：危機管理体制の構築(訓練実施回数)	1回
危機管理体制の構築(目標「作成マニュアル10件」の達成率)	0%

2. 九州女子大学・九州女子短期大学

九州女子大学・九州女子短期大学は、第4次中期経営計画の経営基本方針に基づき、「教育組織を強化し、学生および保護者の満足度を向上させる高等教育を行う大学を目指す」ことを基本目標として掲げ、〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）、〔2〕連携、〔3〕運営の3つの区分および14の具体的計画を設定し計画を実施する。

〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）

キャリア支援に関することおよび進路支援に関することを含めた教育に関することを具体的計画の項目に倣って策定し、私立大学等改革総合支援事業（タイプ1）の選定に関する計画を必須項目として掲げる。

①教育課程の充実

【九女大・九女短大AP No.1】

単位の実質化や成績基準の明確化・厳格化を図るため、シラバスに記載しているアクティブラーニング等の実施率および成績評価方法・評価割合が適切に設定されているかについて検証を行うとともに、授業フィードバック・アンケートにおける授業時間順守を通じて検討する。また、教育課程の適切性について科目の順次性や科目間の関連性等の検証を行うとともに、継続的に学修成果を測定し可視化を図り、以下の成果指標を設定する。

〔成果指標〕：適切な事前事後学修を促す授業の実施率	100%
アクティブラーニングの要素を含む授業の実施率	75%
授業フィードバック・アンケートにおける授業時間順守の割合	98%
学生生活アンケートにおける履修系統図の理解度	50%

②免許・資格取得

【九女大・九女短大AP No.2】

第3次中期経営計画で実施してきた取り組みを継続して実施し、各学科・専攻の教員採用試験、国家試験、免許・資格等の合格率を向上させるため、教員採用試験対策、管理栄養士国家試験対策、一般企業就職対策およびその他の国家資格等の対策を行い、以下の成果指標を設定する。

〔成果指標〕：(生活デザイン学科) 公立学校教員採用試験合格者数	6人
(生活デザイン学科) インテリア関連資格試験合格者数	5人
(栄養学科) 管理栄養士国家試験合格者数	65人
(児童・幼児教育学科) 教員採用試験合格者数	44人
(児童・幼児教育学科) 幼稚園、保育園合格正規採用者数	45人
(心理・文化学科) 教員採用試験合格者数	5人
(子ども健康学科) 公立学校養護教員採用試験合格者数	2人
(子ども健康学科) 公立学校保育士採用試験合格者数	1人
(専攻科) 公立学校養護教員採用試験合格者数	3人

③退学・除籍防止、学修支援

【九女大・九女短大AP No.3】

多様化する学生への支援の充実を目的として退学・除籍を未然に防止するため、学生ポータルサイト（UNIPA）による学生情報を共有し、各学科・専攻が事前に選定した科目を3回連続で欠席した学生を対象として、担任教育職員とキャリア支援課の事務職員による三者面談を実施する。また、悩みを抱える学生に対する相談体制の構築に向けた検討を行い、以下の成果指標を設定する。

〔成果指標〕 退学率(九州女子大学)	1.50%
退学率(九州女子短期大学)	1.50%
除籍率(九州女子大学)	0.30%
除籍率(九州女子短期大学)	0.30%

授業フィードバック・アンケートの授業満足度「かなり満足している」の占有率
50.0%

学生生活アンケートの学生生活の満足度「非常に満足している」の占有率
30.0%

④就職支援

【九女大・九女短大AP No.4】

教育課程内で段階的に就職準備を進めるために、九州女子大学は「キャリアデザインⅡ、Ⅲ」、九州女子短期大学は「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」の授業を教職協働で運営する。北九州市と福岡市を中心に開催される「合同企業説明会」「インターシップフェア」への参加を促し、北九州市の担当部局や企業と連携して学内セミナー等を開催する等、就職活動に早期から主体的に取り組む学生を増やすため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：就職率(九州女子大学)	96%
就職率(九州女子短期大学)	92%
就職率(専攻科)	84%
特定業界【IT・ソフトウェア・情報通信業】内定率	5%
公務員(行政職)合格者数(延べ数)	2人

⑤研究活動の強化

【九女大・九女短大AP No.5】

学生への丁寧な教育と質の高い特色ある教育活動を実践し、科学研究費補助金の採択率向上を図るため、研究活動に関する研修会を実施するとともに、科学研究費補助金の採択に関するポイント等について情報を提供する。また、研究活動の活性化および研究業績蓄積に向けて、研究活動支援体制の検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：科学研究費補助金採択件数	4件
全国学会誌等への掲載件数	26編

⑥私立大学等改革総合支援事業(タイプ1)選定

【九女大・九女短大AP No.6】

経営協議会の下に事務職員を中心とした「改革総合支援事業検討ワーキンググループ」を立ち上げ、得点獲得に向けた取り組みを行う。得点を獲得できていない設問について、得点獲得に向けた検討を行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：満点に対する得点の割合(九州女子大学)	77%
満点に対する得点の割合(九州女子短期大学)	68%

〔2〕連携

学園内設置校との連携に関すること、学園外との連携に関することを具体的計画の項目に倣って策定し、私立大学等改革総合支援事業(タイプ3)の選定に関する計画を必須項目として掲げる。

①学園内設置校、卒業生との連携

【九女大・九女短大AP No.7】

自由ヶ丘高等学校との密接な連携による入学者数の増加に向けて、学生のフアシリテーターおよびスチューデントアシスタントによる高校生への学び等を提供する。卒業生との連携については、卒業年度の12月に4年間を通じた学修成果についてのアンケートを実施し、学生の評価や意見を集約する。また、卒業後3年が経過した卒業生を対象に、在学中に受けた教育内容やサービスに対する意見を調査し、本学の教育内容や各種支援内容の検証を行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：自由ヶ丘高等学校入学者数(九州女子大学)	40人
自由ヶ丘高等学校入学者数(九州女子短期大学)	5人

卒業時アンケート回収率	86%
卒業生アンケート回収率	20%

②国際交流の充実 **【九女大・九女短大AP No.8】**

グローバル化社会に対応できる人材を育成することを目的として、日本人学生の海外留学を促進するため、国際交流・留学生支援室主催による「短期課外研修プログラム説明会」を実施する。また、留学生の受け入れを活性化するために、中国、台湾の大学と新規の協定締結を推進し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：短期海外研修プログラム参加者数	30人
海外大学との新規協定締結数	1件

③私立大学等改革総合支援事業（タイプ3）選定 **【九女大・九女短大AP No.9】**

「地域連携に係る中長期的な目標・計画」を策定したうえで、得点獲得に向けて取り組みを行う。得点を獲得できていない設問について、自治体・産業界との連携を強化し、教育課程の編成、地域の課題解決に向けた研究の推進およびリカレント教育の社会人受け入れについて、得点獲得に向けた検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：満点に対する得点の割合(九州女子大学)	35%
満点に対する得点の割合(九州女子短期大学)	31%

〔3〕運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①職員研修（SD・FD） **【九女大・九女短大AP No.10】**

教育活動に係るFDについては、大学に求められている教育方法の工夫に対応した研修を効果的に企画・実施する。研究活動に係るFDについては、教員の研究活動の活性化に資するため、科学研究費補助金等の外部資金獲得に向けて参考となる内容の研修を企画・実施する。また、ティーチング・ポートフォリオの運用を通じて、個人視点での授業の点検・振り返りを行うことにより、個々の授業改善へ繋げるとともに、学内で共有することにより組織的な授業改善へ繋げる。さらに、SD研修会を計画どおり実施して大学教職員の育成を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：FD研修の実施率	100%
SD研修の実施率	100%

②定員管理 **【九女大・九女短大AP No.11】**

事業計画アクションプランの実施状況について、4月から9月までの取り組み実績を点検のうえ10月以降の課題を明確にし、進捗の遅れを軌道修正することで目標達成を実現する。また、計画どおりに研修を実施し、研修終了後のアンケート調査等を点検のうえ次年度の研修計画に改善することで各学部・学科等における入学定員充足率を達成・維持し、大学全体の適切な定員管理を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：志願者数	750人
家政学部入学者数	127人
人間科学部入学者数	180人
子ども健康学科入学者数	110人
専攻科入学者数	28人
人間科学研究科入学者数	5人

③広報活動の充実

【九女大・九女短大AP No.12】

高校生から「選ばれる大学」となるため、直接接機会である高校訪問、大学説明会では高校教育職員へ本学での学びや他大学との違いを広報するとともに、高校教育職員との関係構築を行う。進学相談会、オープンキャンパスの際には、高校生へダイレクトメールの発送を行い、オープンキャンパスへの動員等に繋げる。また、ホームページ全体の構成や就職実績ページを充実させ、資料請求者数の増加を図るため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：オープンキャンパス参加者数	1,000人
大学説明会高校教育職員参加者数	60人
進学相談会高校生参加者数	1,800人
オープンキャンパス参加者の満足度	90%
高校教育職員の本学への理解度・満足度	80%
高校生の本学への理解度・満足度	80%

④大学アセスメントの構築

【九女大・九女短大AP No.13】

三つのポリシーの適切性について、教育活動に即した観点や教育懇談会における外部評価員による意見を踏まえ、点検・評価を行う。アセスメントプランに則り、教育成果および学修成果について点検・評価する。また、授業満足度および学生満足度について、授業フィードバック・アンケートおよび学生生活アンケートの結果に基づき分析・検証を行う。三つのポリシーを基点とした教育成果および学修成果に係る情報を可視化・把握のうえ、適切に点検・評価するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：アセスメントごとの自己点検実施率	100%
数値目標項目を達成した指標項目比率	40%

⑤危機管理体制の構築

【九女大・九女短大AP No.14】

大学において想定される自然災害や重大な事件・事故等、様々な事象に伴う危機に対応し、学生および職員等の安全確保を図るとともに、社会的な責任を果たすため、基本方針および対応方針について検討を行う。災害発生時の初動対応体制を整備するため、他大学の事例情報を収集し対応事例を整理するとともに、防火防災体制を整備するために本学の消防計画の見直しを行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：危機管理体制の構築（訓練実施回数）	1回
危機管理体制の構築（目標「作成マニュアル10件」の達成率	0%

3. 自由ヶ丘高等学校

自由ヶ丘高等学校は、第4次中期経営計画の経営基本方針に基づき、「教育内容および組織力を強化し、生徒一人ひとりの目標の実現のために教育を行う高校を目指す」ことを基本目標として掲げ、〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）、〔2〕連携、〔3〕運営の3つの区分および12の具体的計画を設定し計画を実施する。

〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）

キャリア支援に関することおよび進路支援に関することを含めた教育に関することを具体的計画の項目に倣って策定する。

①授業内容の充実

【高校AP No.1】

生徒の学習定着のための研究として、外部模試やスタディサプリ到達度テスト

等の実施後に生徒の弱点を分析し、生徒へフィードバックする。担任は学修サポート機能である学習動画等を活用し、弱点に連動した課題を配信することで生徒が取り組むべき内容を明確にする。また、教育職員間で授業研究（授業参観）を実施して知識・技術を共有するとともに、先進的な取り組みを行っている外部機関の視察を行う。さらに、各教科の教科会議で先進事例を活用した科目の充実を研究し、その内容を各教科科目に試験的に導入するため、以下の成果指標を設定する。

【成果指標】：各教科における外部模試前年比較伸長割合（全生徒対象） 50%
生徒の授業に対する授業満足度 60%

②教科指導力の強化 【高校AP No.2】

主要5教科を対象に、年に2回程度の授業研究（授業参観）を計画し実施する。授業参観に来た教育職員は参考になった点を報告書にまとめ、教科会議において改善点等を検証し、教科指導力の向上を図る。また、外部機関が主催する各教科別の指導力向上のための研修会へ参加を促し、教育職員一人ひとりの指導力の向上を図る。さらに、多様化する入試情報等の収集のため、予備校主催の研修会に参加し、教科会議において情報共有することで教育職員が大学入試への理解を深めて指導力向上に努め、以下の成果指標を設定する。

【成果指標】：研究授業等で参考になった点があったと評価した教育職員の割合 50%
各教科における外部模試前年比較伸長割合（全生徒対象） 50%

③受験対策 【高校AP No.3】

進路指導先進校における取り組み事例を視察することにより本校の進路指導体制を見直すとともに、各年度間の進路指導における情報共有を図るため、新旧新三学年会議を復活させる。難関国公立10大学に対応した課外授業に取り組み、模擬試験を実施する等、高レベルの入試問題を解くことを定着させて相互理解を深める。また、難関私立大学および九州地区難関私立大学の指定校枠の拡大を図るべく各校の情報収集を行い、以下の成果指標を設定する。

【成果指標】：国公立大学合格者数 70人
難関国公立10大学合格者数 5人
早慶上理・GMARCH・関関同立合格者数 5人
西南学院大学・福岡大学・APU合格者数 70人

④探究学習の充実 【高校AP No.4】

正課授業の中でアクティブラーニング、グループワークを活用することや学校行事で他者と協働して取り組むことを通して「対人基礎力」「対課題基礎力」を向上させる。進路・学習指導のための学びみらいPASSを活用し、日々の活動を記録し振り返ることを通して「対自己基礎力」を向上させる。また、大学や企業と連携した総合的な探究の時間における課題解決学習等を通して「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」「構想力」を育成し、未来の創り手として社会問題の解決に積極的・主体的に取り組む姿勢を養う等、生徒自身が志望する将来像を具現化させ、社会で活躍できる生徒の育成を行うため、以下の成果指標を設定する。

【成果指標】：リテラシーのポイント向上(学びみらいPASSの活用) 2.5ポイント
コンピテンシーのポイント向上(学びみらいPASSの活用) 2.70ポイント

⑤進路支援 【高校AP No.5】

生徒の目標達成に対する満足度の向上のため、『自由ヶ丘高等学校生徒カルテ（仮称）』の構築に着手する。また、キャリア形成支援に有効な生徒の進路ロールモデルの構築に着手するため、各部と連携を図り情報収集および研究を行うと

ともに、生徒ニーズを把握して生徒の興味関心・適正を的確に捉えることで希望進路の実現に繋げる。さらに、卒業後の選択肢や生徒の進路ロールモデルを紹介できる体制の構築に着手し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：生徒の目標達成に対する満足度	60%
総合的な保護者満足度	60%

〔2〕連携

学園内設置校との連携に関すること、学園外との連携に関することを具体的計画の項目に倣って策定する。

①学園内設置校との連携

【高校AP No.6】

学園内設置大学で開催されるオープンキャンパスについて、連絡ツールであるClassiや授業支援システムであるロイロイノートを用いて、生徒および保護者に広く参加を呼びかけるとともに、オープンキャンパス、全体保護者会、学期末の懇談会を利用して、生徒および保護者に学園内設置大学への理解促進を図る。また、学園内設置大学の学生にTAやファシリテーターを依頼して高校生の探究活動を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学園内設置大学へのオープンキャンパス参加者数	100人
九州共立大学入学者数	45人
九州女子大学入学者数	40人
九州女子短期大学入学者数	5人

②地域連携

【高校AP No.7】

地域から愛される本校の学校づくりを実現するために、ボランティア活動として実施している通学路の清掃、折尾駅周辺等の清掃活動を継続しながら、生徒が主体的に取り組める活動プログラムを構築し、生徒の地域貢献活動の実施に繋げる。また、地域貢献活動に積極的に参加・体験することにより主体性および協調性を養う活動を企画し、卒業しても母校に対しての誇りと愛情を根付かせるよう、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域貢献活動プログラム数	10件
ボランティア活動への参加者数	500人
校外指導、地域巡回の実施回数	12回

③他大学との連携

【高校AP No.8】

北九州市立大学や学園内設置大学と連携し探究学習活動を実施する。九州大学をはじめとする福岡県内の国公立大学から講師を招き、専門性の高い授業を体験させることによって、専門的分野の内容に興味を持たせる。また、大学主催のオープンキャンパスや体験授業等への積極的な参加を促し、生徒が大学を身近なものとして捉えて希望進路として大学への進学意識を向上させるため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：福岡県内国公立大学との連携プロジェクトの実施回数(学園内設置大学を含む)	2回
福岡県内国公立大学からの出前講義	5回
九州大学・北九州市立大学・九州工業大学のオープンキャンパス等参加者数	100人

〔3〕運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①職員研修

【高校AP No.9】

職員研修に関するアンケート調査を行い、職員が学びたいと考える研修を企画することにより主体的に学ぶ環境づくりを目指す。また、福岡県私学協会主催のいじめ対策や生徒指導対策などの教育職員を対象とした研修だけでなく、様々な研修を案内することにより教育職員の学ぶニーズに応える。さらに、探究活動の教育内容充実のために研修会への積極的な参加を促し、進路実績の向上に繋げるため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：職員の研修の満足度	50%
校外研修会への参加率	60%
探究活動に関する研修会への参加率	60%

②定員管理

【高校AP No.10】

収容定員の安定的な充足のため、他の事業計画アクションプランを遂行することに加え、進路学習指導のための学びみらいPASSの結果を活用するための報告会を開催し、在校生の授業満足度を向上させるとともに、学校生活の満足度を向上させる。また、生徒が行きたい学校になることで転学、退学の進路変更を減少させるため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：一般入学試験の受験者数	1,800人
入学者数	480人
特別進学コーススーパー特進クラス入学者数	80人
部活動の加入率	60%
年間の進路変更者数	2.00%

③広報活動の充実

【高校AP No.11】

多様に変化する広報活動において、根幹である中学校・塾をはじめとする教育機関への直接的な広報活動を実施するにあたり、訪問先の意向を察し、より充実した訪問とすべく、訪問担当者への事前打ち合わせや訪問後の報告・検討を密なものとし、訪問先の満足度向上を図る。また、魅力的なホームページにするためのリニューアルを行うほか、オープンスクールやナイトツアーの実施について、アンケート等を利用した内容のブラッシュアップを行い、本校の魅力を効果的にPRし、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：中学校・塾訪問での訪問担当者による訪問先満足度	70%
学校見学会参加者の満足度(オープンスクール・ナイトツアー)	90%

④危機管理体制の構築

【高校AP No.12】

生徒および職員が、日常の安全だけでなく、自然災害、感染症などの現状や原因、防止方法についての理解を深め、安全の課題に対して的確な意思決定および行動選択ができるようにする。いじめなどの早期発見のためにカウンセリングやCOCOLOアンケートを実施する。また、生徒および職員による設備、備品の安全確認やヒヤリハット活動の実施および情報セキュリティに関する危機管理の周知活動を実施して危機管理能力の向上を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：生徒のいじめ、ハラスメントに関する理解度	60%
防犯・防災等の学習会での理解度	50%
情報セキュリティ強化でのサイバー攻撃防御率	100%

4. 九州女子大学附属折尾幼稚園、自由ヶ丘幼稚園、鞍手幼稚園

九州女子大学附属折尾幼稚園、自由ヶ丘幼稚園、鞍手幼稚園は、第4次中期経営計画の経営基本方針に基づき、「九州女子大学附属幼稚園としての特色を活かし、園児および保護者の満足度を向上させ、人格形成の基礎を培う幼児教育を行う幼稚園を目指す」ことを基本目標として掲げ、各幼稚園が〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）、〔2〕連携、〔3〕運営の3つの区分および10の具体的計画を設定し計画を実施する。

【折尾幼稚園】

〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）

キャリア支援に関することおよび進路支援に関することを含めた教育に関するものを具体的計画の項目に倣って策定した。

①保育内容の充実

【折尾幼AP No.1】

年間を通してリトミック教室、体操教室等の体験型保育を実践する。特に英語教育では、年間カリキュラムに沿って全園児が毎日10分間の取り組みを行う環境の中で「正しく聴き取る力」と「正しく伝える力」を養い、楽しみながら英語への興味関心を深め、自然と英語教育が身につくよう促す。また、教育課程は、学期末ごとに開催する園内会議において見直し、改善を行いながら次年度に向けた教育課程の見直しを行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：幼稚園生活に対する保護者の満足度 70%
見直し、改善を行った指導計画の達成率 80%

②子ども・子育て支援の充実

【折尾幼AP No.2】

幼児教育施設における子育て支援の促進が求められる中、子育て経験のある職員が相談窓口として対応する等、相談しやすい体制を整える。未就園児教室では相談しにくい利用者もいるため、子育てサロン（仮称）を設置し、子育て相談しやすい体制を構築する。また、本園ホームページ内に子育て相談に関する項目を掲載するとともに地域における子育て相談の情報を掲載し、随時更新を行う。子育て相談の専用サイトを立ち上げ、私立幼稚園連盟および北九州市ホームページにおいて未就園児教室および預かり保育に関する情報発信を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：子育て支援事業利用者の満足度 60%

〔2〕連携

学園内設置校との連携に関すること、学園外との連携に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①学園内設置校との連携

【折尾幼AP No.3】

九州女子大学附属幼稚園としての特色を活かし、幼児教育の指導者を目指す学生に学びの場を提供するとともに、学園内設置大学との連携による絵画造形教室や体操教室等を定期的に行うことにより、多様な人々との関わりを経験する機会を設ける。また、学園内設置校職員との連携のあり方に関する情報収集を行いながら、今後の進め方について協議を行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学園内設置校職員との連携事業の実施プログラム回数 4回

②地域連携

【折尾幼AP No.4】

折尾地域を代表するイベントである「折尾まつり」に年長組の園児が参加すること、遠賀川への稚魚の放流イベントに参加することにより、地域社会の文化に触れ、園児の豊かな情操教育の構築に寄与する。また、地域で開催されるイベン

トに園児を参加させる際には、その担当者と幼稚園職員による事前調整および確認を行いながら地域行事の充実に貢献するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域事業への園児の参加件数	3件
地域事業への職員の参加件数	1件

③小学校との連携 **【折尾幼AP No.5】**

園長と年長組の担任教育職員が卒園予定の園児が進学を予定している小学校へ出向いて小学校交流検討会を開催し、交流会等の年間計画および日程等について協議する。また、文部科学省が幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のあり方について、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具体的にイメージし、小学校と情報を共有することを求めていることから、園長と年長組の担任教育職員が卒園予定の園児が進学を予定している小学校へ出向いて幼少連絡会を開催し、指導要録に基づき卒園予定の園児一人ひとりの保育状況について詳細な申し送りを行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：小学校との連携事業の実施件数	1件
-----------------------	----

〔3〕運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①職員研修 **【折尾幼AP No.6】**

教育職員各自の立場に応じて必要な知識やスキルを向上させるため、教育職員個人の課題や幼稚園全体が取り組むべきテーマにあった研修に参加するとともに、研修内容を他の教育職員と共有し、園全体の保育の質の向上を目指す。また、夏季休暇中に3園持ち回りで2日間の合同研修を実施し、各自および各園の保育の参考とするなど共に学び士気を高め、今後の保育内容の充実に繋げ、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：園外研修の参加率(補助教員を含む)	60%
園内研修の実施回数(補助教員を含む)	1回
研修参加者の研修満足度	60%

②定員管理 **【折尾幼AP No.7】**

九州女子大学附属幼稚園の特色を活かした幼稚園教育の質の向上を図るとともに、教育職員個人の学びや経験を幼稚園全体で共有し、教育職員個人の課題解決に繋がる研修を計画的に積み重ね、実践することで日常の保育の質の向上を図る。また、本園の保育に対する保護者の理解や信頼関係の構築を十分図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：総園児数	180人
-------------	------

③広報活動の充実 **【折尾幼AP No.8】**

本園の保育に対する保護者の理解や信頼関係の構築を十分図るため、ホームページの更新、SNS等の配信による広報活動を実施する。また、未就園児教室について、次年度のプログラムや年間計画表および参加申込書を年度末までに作成し、在園児や3月の来園者に配付するとともに、参加者に対してアンケート調査を実施することにより次回の未就園児教室の改善に繋げ、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページ、SNS等における配信計画の達成率	80%
未就園児教室参加者の満足度	60%

④安全・衛生対策および危機管理体制の構築 **【折尾幼AP No.9】**

定期点検マニュアルに則り、職員全員で保育時・災害時・登降園時等の様々な場面を想定し、子ども一人ひとりの動向を踏まえ、遊具等、施設の点検を行うと

ともに内容や手順を検討する。また、園児に手洗い・うがいを習慣的に行うよう指導するとともに、来園者に対し、手指消毒等の感染症予防対策への協力を求め、衛生的な保育環境を維持する。避難訓練・防犯訓練を年間計画に沿って実施するとともに、卒園予定の園児を対象に交通安全教室を開催する。加えて、添乗マニュアルに則り、バスの乗せ忘れ、降ろし忘れがないよう職員間で園児のバス乗降業務に係る手順の周知徹底を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：職員による安全点検回数	12回
職員間の安全管理への意識調査	3.5点
避難訓練の実施回数	2回
交通安全教室の実施回数	1回

⑤学校評価

【折尾幼AP No.10】

幼稚園における教育活動、他の園の運営状況について、年度初めに重点的に取り組む目標と評価項目を職員に伝え、取り組み指標と成果指標を職員全員で協議して決定する。また、2月に学校関係者評価委員会を開催し、検討結果を園の教育課程等や指導に活かすことにより持続的に改善を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：自己評価による幼稚園運営目標に対する達成率	60%
------------------------------	-----

【自由ヶ丘幼稚園】

〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）

キャリア支援に関することおよび進路支援にかんすることを含めた教育に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①保育内容の充実

【自由ヶ丘幼AP No.1】

年間を通して、様々な行事や設定保育を実施するほか、学園内設置大学との連携による体操教室・リトミック教室、外国人による英語教室を実施し、豊かな心情・意欲・態度の育成を図る。また、子どもの発達段階に応じた教育課程を編成し、学年会議等において協議するとともに、教育課程に応じた保育の年間指導計画に基づく月案、週日案を作成し、PDCAサイクルを回して保育の質の向上を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：幼稚園生活に対する保護者の満足度	70%
見直し、改善を行った指導計画の達成率	80%

②子ども・子育て支援の充実

【自由ヶ丘幼AP No.2】

未就園児教室の参加者、在園児保護者のほか、入園を検討している保護者など入園の有無にかかわらず随時子育ての悩み相談に応じるとともに、保護者会と連携して年2回の子育てサロンを開催し、子育てに対する悩み等の相談体制を構築する。また、本園の園だよりやホームページ、私立幼稚園連盟および北九州市ホームページを通して未就園児教室や預かり保育、子育て相談窓口等の情報を発信する等園内外に広く周知し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：子育て支援事業利用者の満足度	60%
-----------------------	-----

〔2〕連携

学園内設置校との連携に関すること、学園外との連携に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①学園内設置校との連携

【自由ヶ丘幼AP No.3】

九州女子大学附属幼稚園としての特色を活かし、学園内設置大学からの実習生

を受け入れ、幼児教育の指導者としての学びの場を提供するとともに、学園内設置大学との連携による体操教室、リトミック教室を実施するほか、九州共立大学の学生や自由ヶ丘高等学校の生徒との交流を継続して実施する。また、幼児教育に関する研究テーマや研究方法について協議し、その実施方法や役割分担等を検討する等、次年度に向けた新たな連携の方法を検討するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学園内設置校職員との連携事業の実施プログラム回数 6回

②地域連携 **【自由ヶ丘幼AP No.4】**

地域社会の文化に触れ、園児の豊かな情操教育の構築に寄与するため、地域住民の協力のもと、田植え・稲刈り・餅つきの体験型保育を实践する。また、折尾まちづくり記念館の事業の一環で、未就園児を対象としたオリオンひよっこクラブへ教育職員を派遣するほか、各種団体等からの要請に対して職員の参加を積極的に検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域事業への園児の参加件数 1件
 地域事業への職員の参加件数 1件

③小学校との連携 **【自由ヶ丘幼AP No.5】**

幼稚園および小学校の教育職員の連携を促進し、年間計画を立案のうえ教育課程の検討を行うとともに、小学校交流検討会では年長児と小学生との交流会を計画し、園児が地域の小学校を訪問する。また、幼少連絡会を開催し、教育職員が指導要録に基づき卒園予定の園児が進学を予定している小学校の教育職員に対し園児一人ひとりの保育状況について詳細な引継ぎを行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：小学校との連携事業の実施件数 1件

【3】運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①職員研修 **【自由ヶ丘幼AP No.6】**

教育職員各自の立場に応じて必要な知識やスキルを向上させるため、教育職員個人の課題や幼稚園全体が取り組むべきテーマにあった研修に参加するとともに、研修内容を他の教育職員と共有を図り、園全体の保育の質の向上を目指す。また、夏季休暇中に3園持ち回りで2日間の合同研修を実施し、各自および各園の保育の参考とするなど共に学び士気を高めて今後の保育内容の充実に繋げ、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：園外研修の参加率(補助教員を含む) 60%
 園内研修の実施回数(補助教員を含む) 3回
 研修参加者の研修満足度 60%

②定員管理 **【自由ヶ丘幼AP No.7】**

九州女子大学附属幼稚園の特色を活かすとともに、学園内設置校との連携による保育、ICT保育等の特色を活かした保育を実践し検証することで保育の質の向上を図る。また、教育職員個人の学びや経験を幼稚園全体で共有し、課題解決に繋がる研修を計画的に積み重ねて保育の質向上を図るとともに、ホームページ、SNS等を通じて幼稚園への興味が高まるよう促し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：総園児数 230人

③広報活動の充実 **【自由ヶ丘幼AP No.8】**

本園の保育に対する保護者の理解や信頼関係の構築を十分に図るため、ホーム

ページ等への掲載内容、掲載方法等の見直しを行う。また、未就園児教室参加者の満足度向上および次回の未就園児教室の参加促進に繋がる新企画立案を課題として検討を継続し、参加者増加を図って入園に繋げるため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページ、SNS等における配信計画の達成率	80%
未就園児教室参加者の満足度	60%

④安全・衛生対策および危機管理体制の構築 【自由ヶ丘幼AP No.9】

定期点検マニュアルに則り、職員全員で保育時・災害時・登降園時等の様々な場面を想定し、子ども一人ひとりの動向を踏まえ、遊具等、施設の点検を行うとともに、内容や手順を検討する。また、園児に手洗い・うがいを習慣的に行うよう指導するとともに、来園者に対し手指消毒等の感染症予防対策への協力を求め、衛生的な保育環境を維持する。避難訓練・防犯訓練を年間計画に沿って実施するとともに、卒園予定の園児を対象に交通安全教室を開催する。加えて、添乗マニュアルに則り、バスの乗せ忘れ、降ろし忘れがないよう職員間で園児のバス乗降業務に係る手順の周知徹底を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：職員による安全点検回数	12回
職員間の安全管理への意識調査	3.5点
避難訓練の実施回数	2回
交通安全教室の実施回数	1回

⑤学校評価 【自由ヶ丘幼AP No.10】

幼稚園における教育活動、他の園の運営状況について、職員全員で自己評価することにより、園全体の課題を抽出し、次年度への改善に繋げる。また、学校関係者評価を通じて、他者視点での課題等を把握し、次年度への改善に繋げるため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：自己評価による幼稚園運営目標に対する達成率	60%
------------------------------	-----

【鞍手幼稚園】

〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）

キャリア支援に関する事および進路支援に関する事を含めた教育に関する事を具体的計画の項目に倣って策定した。

①保育内容の充実 【鞍手幼AP No.1】

豊かな自然環境や広大なグラウンドを十分活かした体験型保育を中心に据えて、植栽・栽培・調理・試食を経験する食育活動、満3歳児からの体系的な運動遊び等の自然体験の実施に取り組む。また、本園の教育方針「子ども一人ひとりが自由にのびのびと表現し、しなやかな心身の強さや優しさを備えた「生き生きした姿を育む」に沿って、4月に全職員で教育課程の内容を検討して編成し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：幼稚園生活に対する保護者の満足度	70%
見直し、改善を行った指導計画の達成率	80%

②子ども・子育て支援の充実 【鞍手幼AP No.2】

地域に根差した子育て支援を展開するため、子育て支援センターを設置し、地域の乳幼児の発達を支援できるよう内容の充実を図る。具体的な内容と期日に関しては毎月発行する園だよりに掲載するほか、銀行・病院・商店等にポスターを掲示し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：子育て支援事業利用者の満足度	60%
-----------------------	-----

〔2〕連携

学園内設置校との連携に関すること、学園外との連携に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①学園内設置校との連携

【鞍手幼AP No.3】

九州女子大学附属幼稚園としての特色を活かして、学園内設置大学からの実習生を受け入れ、園の教育や運営への協力体制を構築する。また、学園内設置大学から体育・音楽・美術等の教育職員の派遣を要請して、その専門性を活かし幼児を対象とした保育実践の連携を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学園内設置校職員との連携事業の実施プログラム回数 5回

②地域連携

【鞍手幼AP No.4】

地域社会の文化に触れ、園児の豊かな情操教育の構築に寄与するため、地域行事へ積極的に参加するほか、陶芸教室・お茶会の開催を通して地域住民と園児との交流を深める。また、地域で開催されるイベントに園児を参加させる際には、その担当者と幼稚園職員による事前調整および確認を行い、地域行事の充実に貢献するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域事業への園児の参加件数 3件
地域事業への職員の参加件数 1件

③小学校との連携

【鞍手幼AP No.5】

幼児期から小学校への円滑な接続を推進するため、自然体験を実施し園児・児童が訪れあう交流の場を設定する。また、卒園を予定している園児が進学を予定している小学校において教育職員が保幼少連絡会議を開催し、卒園予定の園児の幼稚園生活の全体像や園児一人ひとりの発達について詳細な申し送りを行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：小学校との連携事業の実施件数 1件

〔3〕運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定する。

①職員研修

【鞍手幼AP No.6】

教育職員各自の立場に応じて必要な知識やスキルを向上させるため、教育職員個人の課題や幼稚園全体が取り組むべきテーマにあった研修に参加するとともに、研修内容を他の教育職員と共有し、園全体の保育の質の向上を目指す。また、夏季休暇中に3園持ち回りで2日間の合同研修を実施し、各自および各園の保育の参考とするなど共に学び士気を高め、今後の保育内容の充実に繋げるため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：園外研修の参加率(補助教員を含む) 60%
園内研修の実施回数(補助教員を含む) 8回
研修参加者の研修満足度 60%

②定員管理

【鞍手幼AP No.7】

九州女子大学附属幼稚園の特色を活かした幼稚園教育の質の向上を図る。また、教育職員個人の学びや経験を幼稚園全体で共有し、教育職員個人の課題解決に繋がる研修を計画的に積み重ねることで保育の質向上を図るとともに、本園の保育に対する保護者の理解や信頼関係の構築を十分図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：総園児数 90人

③広報活動の充実

【鞍手幼AP No.8】

積極的な情報発信を行うことで、本園の保育に対する保護者の理解や信頼関係

の構築を十分図る。ホームページ、SNSに関して保護者や地域住民からの感想や意見を迅速に反映させるため、園内に意見箱を設置して広報活動の充実を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページ、SNS等における配信計画の達成率	80%
未就園児教室参加者の満足度	60%

④安全・衛生対策および危機管理体制の構築 **【鞍手幼AP No.9】**

定期点検マニュアルに則り、職員全員で保育時・災害時・登降園時等の様々な場面を想定し、子ども一人ひとりの動向を踏まえ、遊具等、施設の点検を行うとともに、内容や手順を検討する。また、園児に手洗い・うがいを習慣的に行うよう指導するとともに、来園者に対し手指消毒等の感染症予防対策への協力を求め、衛生的な保育環境を維持する。危機管理マニュアルを随時見直すとともに、避難訓練は段階的な計画に沿って実施する。加えて、添乗マニュアルに則り、乗せ忘れ、降ろし忘れがないよう職員間で園児のバス乗降業務に係る手順の周知徹底を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：職員による安全点検回数	12回
職員間の安全管理への意識調査	3.5点
避難訓練の実施回数	6回
交通安全教室の実施回数	1回

⑤学校評価 **【鞍手幼AP No.10】**

幼稚園における教育活動、他の園の運営状況について、教育職員は年度当初に編成した教育課程の進捗状況について、今後に向けて展望等を文章により報告する。また、学校関係者評価委員会の委員を規定に沿って選出して2月に評価委員会を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：自己評価による幼稚園運営目標に対する達成率	60%
------------------------------	-----

5. 法人全体（法人事務局）

法人全体（法人事務局）は、第4次中期経営計画の経営基本方針に基づき、「永続的に学園運営を行うため、学園内設置校相互の連携を深め、学生・生徒・園児・保護者の満足度を向上させる学園を目指す」ことを基本目標として掲げ、〔3〕運営の区分および7の具体的計画を設定し計画を実施する。

〔3〕運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①教育組織の改編 **【法人全体AP No.1】**

文部科学省が掲げる「大学・高専機能強化支援事業」「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化」に基づき、学園内設置校の教育組織の改編および学園内設置校の学生を対象とした北九州市との連携について検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学園内設置大学の収容定員の充足率(大学院、専攻科含む)	100%
学園内設置大学の学生の満足度(「非常に満足している」および「かなり満足している」の占有率)(大学院、専攻科を除く)	28%

②事務組織の改編 **【法人全体AP No.2】**

学園運営を永続的に維持できる組織力を培うとともに事務組織の維持向上を図

るため、ミドルマネジメント層による各課内および他部署との円滑な連携を図る調整役としての能力向上に取り組む。また、継続的に新卒者の採用を実施するとともに、年齢構成の均衡化を図るため、中途採用を計画的に実施する。毎年度実施している人事評価結果に基づき、資格要件および基準を満たしている事務職員を昇格させるとともに事務組織の活性化を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：新卒、中途採用人員(5年間累計19人)	5人
事務職員数(5/1付人員)	117人
事務職員1人当たりの学生数(大学事務局5/1付人員)	50人

③人事制度の改革・充実 【法人全体AP No.3】

採用、昇任・昇格基準に課題等を抽出するとともに、採用、昇任・昇格基準およびに高年齢者の採用確保措置について他大学および民間企業等の情報収集を行う。また、学園内設置校の組織改編等に合わせて大学および高等学校の設置基準等を基本とする必要最小限の教員配置について検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：教育職員1人当たりの学生数(九州共立大学)(助手を除く)	37.0人
教育職員1人当たりの学生数(九州女子大学・九州女子短期大学)(助手を除く)	22.0人
教育職員1人当たりの生徒数(自由ヶ丘高等学校)	19.0人

④職員研修 【法人全体AP No.4】

職員に必要な知識および技能を習得させるため、計画的な研修プログラムを策定する。また、本年度の研修計画に基づいた研修の実施状況の点検を行うとともに、問題点および改善点を抽出・検証し、次年度の研修プログラムを策定するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：研修プログラム参加者の満足度	100%
-----------------------	------

⑤財政管理 【法人全体AP No.5】

各所属における予算編成にあたり、学納金および補助金収入の増額を図るとともに、経費の要否を精査し、経常収支差額が収入超過となることを目標とする。また、外部資金の獲得を拡大していくための検討部会を設置して検討を行い、増額を目指すため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：教育活動収支差額比率(法人全体)	0.1%
経常収支差額比率(法人全体)	0.1%

⑥施設・設備の充実 【法人全体AP No.6】

学園内設置校のエネルギー使用の多くが施設利用に伴うものであるため、省エネルギー効率の高い設備への改修を計画する。また、学園内設置校における省エネルギー対策の実態について分析し、次年度に向けた省エネルギー効率の高い設備導入および設備の運用等、省エネルギー対策についての検討を進め、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：省エネルギー目標(前年度対比)	△1.0%
------------------------	-------

⑦危機管理体制の構築 【法人全体AP No.7】

想定される自然災害や重大な事件・事故等の様々な事象に伴う危機に直面した際に、的確に対処できる体制について他大学等の情報収集を行いながら検討する。あわせて、事前・事後の危機管理体制および基本方針等について情報収集を行いながら危機管理体制を構築するとともに、危機管理体制の構築等の基本方針および手順等の作成・検討に向けて、情報セキュリティ危機管理体制に係る情報収集を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：危機管理体制の構築(訓練実施回数)	1回
情報セキュリティ危機管理体制の構築(基準および手順作成)	0%